

古本月報

主婦之友はナゼ戦争犯罪人か

聯合國は、今や日本のあらゆる

わが週報も古本を主とする月報に姿を變へたが、古本は單に文献蒐集の面のみではなく、かの鳩山一郎の「世界の顔」に於ける例で明かな如く戦争犯罪人の罪狀の記録として極めて重要な面を持つて

消息

出版の自由

四月十六日政府は今まで發賣禁止されてゐた出版物を一切解除し尙差押出版物は所有者に返還することを各地方廳に通牒した。但、風俗關係では春本春蠻の類は司法處分によつて取締られるといふ。

○横濱税關に保管中のマルクス、
ユン等の洋書二千冊を加へて約
一萬、日本橋通一丁目西河岸ビ
三階に青藍文庫が四月一日から公
開月廿四、保證金百圓の貸出あり
時より五時まで開館してゐる日曜
は休み。

再刊の言葉

耳干の言事

昭和前期書物趣味ネットワーク誌 回書週報

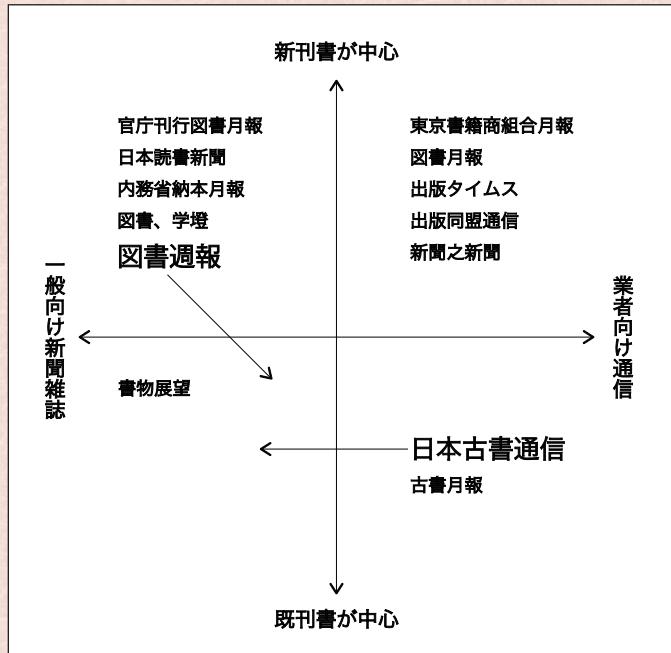
『図書週報』は、
関東大震災後の出版資本主義時代下の
出版界・読書界・古本界の複雑な情勢を
一目要覧せしめる

『図書週報』は、日本近代書誌学・地域刊行物・軟派書などの「特殊」出版物に関する報道機関である

『図書週報』は、昭和前期の社会生活に切実な関連を有する各種研究文献日録を記録

趣味的だがオープンな書物雑誌 地方からの記事、情報：通信員と民間学者 総目次一約5,000件

▼昭和10年代前半の書物雑誌（本書解題より）



▼『図書週報』の性格変遷表（本書解題より）

タイトル	号数	発行年月日	形態・記事構成	性格
図書週報	1	昭 5.3.3	四六倍判 (B5) 4p.	新刊の新聞（週刊）
	65	昭 6.8.31	「新刊週報」欄簡略化	古本の新聞（週刊）
	101	昭 7.6	「新刊週報」欄廃止、月刊化	古本の新聞（月刊）
	162	昭 12.8	菊判 (A5) 化、古書販売目録を付す	古本の雑誌（月刊）
	210	昭 17.7	最終号	
古本月報	1	昭 21.6	B5 判 4p.	
	7	昭 22.3	最終号	

発行者・渡辺太郎……

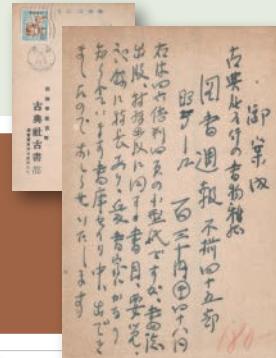
静岡県における左翼運動のリーダーとして活動、3.15事件（1928年の共産党員一斉検挙）で勾留されてから転向し、1930年に古典社を自宅に設立

叙述や研究を立ち上げるには、事前に何がしかのアーカイブを経由する史料形成・史料調査という、メタな「実践」の次元を要する。それゆえ、叙術・研究の前提条件を検討することになるアーカイブ史・蒐集史・史料形成史は、学説史としての学史とは異なる、社会史的なもう一つの学史の領域を構成する（緒川直人）。

『図書週報』掲載の文献目録／特殊目録／新刊紹介／古本目録／

読書案内／読者通信といった書物への共有を出発点に、同好者との新たなコミュニケーションが創発／反復され、人々のつながりや書物への認識を再生産させていく媒介機能がみてとれる。

バックナンバーも含めた『図書週報』というアーカイブを結節点とする、利用者とのコミュニケーションの創発／再生産などの社会的機能がここにはある。



(三) 號二十二百第 報 書 週		(二) 號二十二百第 報 書 週	
日本五月三十日三年九和略		日本五月三十日三年九和略	
<p>大坂別通 朝倉巖著 定價拾五錢 不滿要料</p> <p>古本屋開業新案内</p> <p>古本屋開業新案内</p>		<p>大坂別通 朝倉巖著 定價拾五錢 不滿要料</p> <p>古本屋開業新案内</p> <p>古本屋開業新案内</p>	
<p>大坂別通 朝倉巖著 定價拾五錢 不滿要料</p> <p>古本屋開業新案内</p> <p>古本屋開業新案内</p>		<p>大坂別通 朝倉巖著 定價拾五錢 不滿要料</p> <p>古本屋開業新案内</p> <p>古本屋開業新案内</p>	

週報の特色は通信員制にある。ジャンルや場所（とくに地方）ごとにひろく通信員をもとめ、地方の読書状況を報告させたり、出版物の書誌を提出させているところが面白い。

これらの地方出版物、特殊出版物についての書誌情報は、当時も（そして今でも）ほかの媒体では得難い貴重なもの。

本書の活用法

一、現役の主題書誌として……

帝国図書館本には件名が付与されておらず、戦前の和書を主題から一覧できない状況に現在なる。

それゆえ戦前に作られた主題書誌はいまだに有効であり、『図書週報』に掲載されたものもそうだ。

それらを丹念にたどつていけば、必ずや民俗学など当時は新興の知識体系や趣味が成立する瞬間の失われた関連文献を得られる。

二、知のネットワークを再現するために……

当時の新しい知識分野、いわく書誌学、いわく民俗学、方言学といった知的体系の形成プロセスに併走。

学の形成過程では、〈文献の蒐集＝学の形成〉とすら言える。

三、出版流通史の得難い資料として……

近代書誌学の一ジャンルないし隣接領域として近代出版史があるが、その「研究」ははじまつばかりであり、なかでも流通、小売、書店についての研究は手薄だ。

個別業界史を知るには、業界内でのみ流通するディレクトリ（名簿類）や業界誌を参照する必要があるが、それらの残存状況はきわめて悪い。

そもそもどのようなものがあったのか自体が判然としない。

しかし『図書週報』は一般向けの専門誌であるにもかかわらず、途中からの性格の変化により業界誌としても参照できるのである。

四、ゴシップ、人物消息……

『図書週報』後期は古本業界誌の性格を強めたが、一方で、あくまで一般読者のための雑誌から出発したため、業界内のことががらを、読者（消費者）から記述するというスタンスが取れるのも、本誌の強みだ。

五、意図せざるツールとして機能する広告欄……

古典社自身の不要資料を売りたてるために設けられていた販売書誌のページから、当時、どのような書誌関係の出版物が存在していたかが分る。

もちろん、古書店が出稿した古書販売目録も、古書店の存在時期や性格を雄弁に物語るものであろうし、専門店であれば主題書誌の代替機能も果たせよう。



「付録資料編」……

発行元・古典社のリーフレット類を集めて

- ①大鳥逸平『古本賣買の實際知識』(古典社、1931年)
- ②図書週報編輯部『明治大正發売禁止書目』(古典社、1932年)
- ③図書週報編輯部『最新古本市場相場表』(古典社、1932年)
- ④古典社編輯部『特選蒐書家名簿』(古典社、1935年)



大泊	杉	佐	眞	河	奥	落	大泊	藤	長	守	庄	太郎
杉	王	本	寛	野	田	合	杉	田	中	守	北	田
王	子	藤	剛	俊	重	大	大泊	藤	尾	太	南	太郎
本	眞	英	助	之	次	落	杉	田	守	守	庄	太郎
寛	眞	英	眞	眞	次	合	大泊	藤	守	守	太	太郎

総目次（抄）……

出版消息／発売禁止一覧—図書／雑誌／軟派私版／書誌関係雑誌記事索引／絶版古書目録／読者通信—関西出版協会とは江島秀雄／読者通信—改造社の怠慢 義境子／読者通信—正木不如丘氏に賛す 江島秀雄／研究文献目録—娼婦に関するもの／非売品歌集に就て 中野三千夫／予約出版は下火か 砂山茂／出版界に於ける講談社型と平凡社型 砂山茂／地方の読書界—権太地方 小熊英一／本邦図書館に於ける図書分類の実例—大橋図書館 大橋図書館／月遅れ雑誌販売 江島秀雄／「方言と土俗」の創刊 橋正一（盛岡）／東條操（広島）／大田栄太郎（東京）／本邦図書館に於ける図書分類の実例—台湾総督府図書館 台湾総督府図書館／現代軟派目録補遺二つ 小野春雄／高橋多吉／新潮社最近の出版傾向に就て 砂山茂／各地の読書会—京城から雀生／九ヶ月後に禁止されたゲオルゲ・グロッソ画集／昭和四年度発売禁止一覧—雑誌の部／全国新聞連載小説一覧（六月現在）／房総文庫に就て 中山良章／エロのたわごと—軟派屋 総マクリ 藤原私平／求む 橋正一（盛岡市新馬町）／明治初期花街文学に関する文献目録 石川巖／古書欄—近頃古本屋スマップ／古書の相場／和漢洋書交換会／書好会臨時入札会／定期通信—土俗方言 橋正一／定期通信—発禁左翼 小田中政郎／定期通信—軟派 小野春雄／改造社に告ぐ 義境生／プロテアリヤ新聞雑誌一覧—演劇、映画、美術、音楽、詩歌／新聞及同型出版物 小田中政郎／プロ雑誌一覧につき 一読者／古書欄—店頭買入問題／アイヌ土俗書目録 橋正一／古書欄—円本全集の古本相場／古書欄—古本屋常用語（続） みつはし／郷土童話書目録 橋正一／『新刊批評』評 書頭／今週の読書案内／叢書要覧／琉球歌謡集目録 橋正一／一九三〇年の軟派界を送る 小野生／内外新聞発達史料展覧会目録から—維新前の新聞／発行禁止の新聞雑誌／全国学生新聞／名家蔵書売立回顧録—紀州徳川家売立目録 金子居水／出版要覧—限定出版／定期出版／更新出版／当用出版／特殊出版／非賣出版／土俗出版／軟派出版／パンフレット／出版機関紙／古本販売目録／英国古書目録／春陽堂は何處へ行く？／大阪に於ける二つの古本展 明石静浪／専門出版商名簿／古典の誘惑 寺田寛彦／洋書屋評判記 春山行夫／百貨店書籍店の問題／丸ビルの古本展／岩波書店主のクリスチヤン振り 砂山茂／読書標 16 見切本となる本は？／花園歌子の女性文化研究資料展／古本実話 嶽松堂へ古本を売った話 松竹梅生／支那書林街一文地図 一戸務／書物から観た東京都大阪 神代種亮／博文館の昔物語／支那旅行に関する書物の一部（追記） 上田守夫／エロ書目録 灯書房（福島県郡山市本町）／目録応用の形勢に就て 市島春城／宣伝機関の革新 小林竊里／佐渡珍書研究 青柳秀夫（新潟県佐渡郡小木町）／東京移動図書館／ロシアに於る図書館科学研究所 ガエフスキイ／川崎芳男訃／一般発売禁止目録表 生田天涙／郷土研究家名簿 青柳秀夫（新潟県佐渡郡小木町）／研究と出版とを一つにして 日夏耿之介／本邦輸入禁止書目録（支那語之部） 生田天涙／藏書整理 グラム 良平（新潟県柏崎市旭町一丁目）／日本仏教新聞は詐欺？ 横江生／著名雑誌新年号附録一覧 中村

圖書週報

—昭和前期書物趣味ネットワーク誌

さまざまな固有名が、出版史、（古）書店史、民間／新興学問史の世界へいざなう 全十巻【復刻版】

編・解題—小林昌樹（国立国会図書館）原本発行—古典社

造 本—A5判・上製函（10巻のみ並製）総3,140頁

価 格—全巻揃予価180,000円（各巻18,000円）配本毎分売可

【第一回配本】2015年2月 ISBN978-4-907236-31-1

1巻（340頁）……『図書週報』1～50号（1930年3月～1931年4月）

*解題、総目次、著者名索引

2巻（300頁）……『図書週報』51～119号（1931年5月～1933年12月）

3巻（320頁）……『図書週報』120～166号（1934年1月～1937年12月）

【第二回配本】2015年6月 ISBN978-4-907236-32-8

4巻（330頁）……『図書週報』167～178号（1938年1月～1938年12月）

5巻（308頁）……『図書週報』179～186号（1939年1月～1939年8月）

6巻（290頁）……『図書週報』187～192号（1939年9月～1940年2月）

【第三回配本】2015年10月 ISBN978-4-907236-33-5

7巻（330頁）……『図書週報』193～199号（1940年3月～1940年10月）

8巻（326頁）……『図書週報』200～205号（1940年11月～1941年6月）

9巻（256頁）……『図書週報』206～210号（1941年8月～1942年7月）

『古本月報』1～7号（1946年6月～1947年3月）

10巻（340頁）付録資料編

解題

書物雑誌としては例外的に長く続いた本誌を類似他誌と比較しながら考察、メディアとしての「通信」にもふれる32頁。

「新本の週刊新聞から古本の月刊雑誌へ」

一、概要と内容の変遷

創刊／新刊から古本へ／刊行頻度と形態の雑誌化／発行部数と販売状況／読者層：地方の趣味家、大都市のインテリ、そして古本屋／安めの価格

二、週報の性格

趣味的だがオープンな書物雑誌／書物雑誌としては例外的に長く続いた

三、記事の書き手たち

地方からの情報：通信員と民間学者

四、週報と古通との比較

古通は1934（昭和9）年に「通信」として創刊／群小通信社の時代／古書落札相場の公表禁止問題（1936（昭和11）年10月）と日本古書通信／既刊書の紹介から古本の売買へ、そして古本業界の話題へ

五、いくつかのエピソード

「書物雑誌」という雑誌ジャンルの成立／検挙された愛書家たち：蒐書家ネットワークの形成／後世への影響 日本の地方文化保存へ

六、今回の復刻の活用法

復刻としては違いが／現役の主題書誌として／知のネットワークを再現するために／出版流通史の得難い資料として／ゴシップ、人物消息といったもの／広告欄

七、書誌

『図書週報』と『古本月報』の書誌／新聞・雑誌としての当局への届出／形態および料紙、号外／終刊号と残存状況

英治／読書標18 図書館用品について／満鉄調査課の事業紹介 青木実／ゼビ御覧！一輪草舍書屋（大阪市西成区粉浜東之町三丁目）／大阪の古本夜店を語る 殺青子／年鑑の目録 中西末造／海外軟書漫筆 東生／予約出版配本抄／文化文政絵本目録／古本市価は素人に知らしてはならないか？能樂の雑誌 坂元雪鳥／支那通信（二六）藤田江東（青島市外四方莊）／絶版各種辞書雑誌／露店月後れ雑誌販売案内／素人読者は「出版年鑑」へ！玄人読書家は「古本年鑑」へ！京城図書通信（二）宝文堂主人（京城）／滝川教授問題と書籍業者／明治以降佐渡発行雑誌一覧 青柳秀夫／維新史のための諸文献 服部之継／日本に於ける読書家階級の分析／非常時の読書家に於ぐ！／烏合会古書即売展 鈴木生／愛書家の好意 小塚省治／曝書 広谷（日比谷図書館長）／竹久夢二全著作目録（稿）鈴木利三郎（福井）／小村俊三郎翁の古蔵書藏六迂人／花柳及壳笑関係書目（五）／本邦印刷術略年表 小杉篤甫／大正初年の蔵書家／花柳及壳笑関係書目（八・完）H・K・H／突如！出版非常に内閣成立／石山富治問題と東京古書組合／近代軟派出版元年表（上）H・K・H／萬関係文献目録／軟派出版—関西軟派往来／東京新聞評判録（一）鳥玉山人／雑誌特輯号目録（四）／図書館の被害—東京市立日本倍図書館の話／明治文化全集署名索引（一）／三土社書店／古典社（沼津市住吉町）／戦時出版は何處へ行く／古本屋さんも御用心！軍機保護法の分布／どんな全集が見切本になつたか？／どんな本が売れて行くか？／古本屋と蔵書票 小塚省治／詩集珍本の相場／古本目録研究室—六、古本目録を解剖する 吉備たより主人／読書購賣力をしらべる—、どんな人が余裕あるか／二、どんな本が必要か／三、どんな本が出るか／県別と紙製作家一覧（二）—山梨県／奈良県／山口県／岐阜県／福島県／福岡県／学者に油断すな／再び学者に油断すな 不知火／『大地』は如何にして売れたか 伊藤溥一（第一書房営業部長）／掘出物のありさうな東京古本巡り—牛込区／荒川区／淀橋区／品川区／大森区／目黒区／蒐集趣味雑誌一覧／小型文庫翻訳物著者索引（昭和十三年三月現在）／水害神戸の古本界 永手町人／東京古本相場通信—雜法／上田万年落札値段／若樹文庫立論／目録向の古本を總動員せよ！／読書家案内—譲る本 江島秀雄（東京市向島区隅田町三ノ九六七）／青山幸嗣（名古屋市昭和区幸町一丁目十二）／松下靜雄（静岡県小笠郡新野村）／サイトウ（東京市淹川町一三二）／北京通信／大同通信／古本業の諸問題（二）青山紙治／文学出版はどうへ行く／地方出版をどうして知るか？／名古屋事件の教訓—古本屋に秘密なく古本に闇取引なし／内閣情報部情報西村直巳氏曰く／警視庁外事課長小川喜一氏曰く／改造社の絶版物／古本関係記事紹介（3）—書物・電報・火災／古書の売立／肩屋さんの話／珍しい金魚文献 松井佳一（農学博士）／譲る本 雜誌愛好会（京都市大將軍鷹司町）／荒尾嘉喜智（金沢市板前三）／[……]

Kanazawa Bumpokaku
金沢文園閣

〒920-0867 金沢市長土堀2-16-30

Tel 076-261-8884 Fax 233-3111

<http://kanazawa-bumpo-kaku.jimdo.com/>

口書店様へ…ありがとうございます

直接小閣までお申込みください

図書はすべて本書より
価格は税別 045/11/4000